

平成23年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

生産振興課(内線:7281)

6目 農作物対策費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥獣被害総合対策事業	202,951	9,881	212,832				9,881	
トータルコスト	232,507	9,881	242,388	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	3.7人	0.0人	3.7人	侵入防止柵・捕獲等に係る補助、研修会の開催、人材育成、新技術の実証等				
工程表の政策目標(指標)	対策技術の県内全域への普及に向け、モデル地区を設置 (鳥獣対策モデル地区数:23地区)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

野生鳥獣による農作物等への被害を減少させるため、侵入防止柵の設置や捕獲等の対策を支援するとともに、対策技術の普及や人材育成を行う。  
イノシシやシカ等による農林産物被害の増加に伴い、地域において侵入防止柵の設置等に対する要望が増加したため単県事業の増額を行い、対策の推進を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業内容	事業主体	補助率	補正前	補正額	合計
<b>(1)鳥獣被害総合対策事業補助金【単県事業】</b>					
①侵入を防ぐ対策 ・侵入防止柵、緊急対応資材等	市町村 農協等	1/3	32,510	7,653	40,163
②個体数を減らす対策 ・捕獲班員の育成確保 ・有害鳥獣の捕獲(捕獲班員の活動費) ・捕獲奨励金(イノシシ、シカ、ヌートリア、アライグマ)			32,261	2,034	34,295
③周辺環境を改善する対策 ・緩衝帯の設置等	市町村 農協等	1/3*	100	194	294
小 計			64,871	9,881	74,752
<b>(2)鳥獣被害防止総合対策交付金【国事業】</b>					
①推進事業(ソフト) ・捕獲用具、緩衝帯の設置 ・協議会・講習会・調査等	地域協議会	定額 (上限2百万円)	134,138	0	134,138
②整備事業(ハード) ・侵入防止柵等の被害防止施設 ・捕獲鳥獣の処理加工施設等	地域協議会 (市町村等 を含む)	1/2又は 5.5/10			
小 計			134,138	0	134,138
<b>(3)県推進支援</b>					
①現地指導体制の強化(普及員等への研修会) ②技術普及(公開セミナーの開催等) ③捕獲従事者の養成に係る検討会 ④イノシシ団による地域支援等	県	—	3,942	0	3,942
小 計			3,942	0	3,942
合 計			202,951	9,881	212,832

※捕獲奨励金の補助率1/2は、平成23年度の事業に限る。

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】 鳥獣対策モデル地区数 : 23地区(H30目標) → H23目標:18地区

〈取組状況〉○技術の普及 ・県版マニュアル「鳥獣対策 虎の巻」の作成・普及(2千部)  
・研修会等の開催 (H21)95回、1,357人 (H22)66回、1,292人  
○指導者の育成 ・改良普及員等の研修5回(H22年度)  
・民間指導者「イノシシ」の養成 (H20~22年度)94名

〈自己分析〉

・補助事業及び対策技術の普及により、県内各地で集团的・効果的な対策が進みつつある。  
・新規被害発生地・対策遅延地域における集团的・計画的な柵設置等の推進が必要。  
・個体数・生息域が拡大しつつあるシカ・ヌートリア・アライグマ等の捕獲強化が必要。